

# ものれーる



ご協力ありがとうございました。

## 多摩都市モノレールの市内延伸を目指して 公共交通に関するアンケート調査を集計しました

武蔵村山市では、市民の悲願である「多摩都市モノレールの市内延伸を実現するための方策調査」を進めています。

この調査の一環として、市民の皆様をはじめ、日ごろ当市においてになる方の公共交通機関（バス、電車等）の利用状況を把握するため、アンケート調査を実施いたしました。

その結果の概要と皆様からいただいたご意見の一部をお知らせいたします。

なお、調査報告書は今年度末頃を目途にまとめ次第公表していく予定です。

### アンケート調査の概要

目的：市民・来訪者の公共交通機関の利用状況を把握するため

方法：インターネット調査・公共施設  
村山デエダラまつりでのアンケート調査

対象：市内外の方（交通弱者を主対象）

期間：平成19年11月から12月中旬

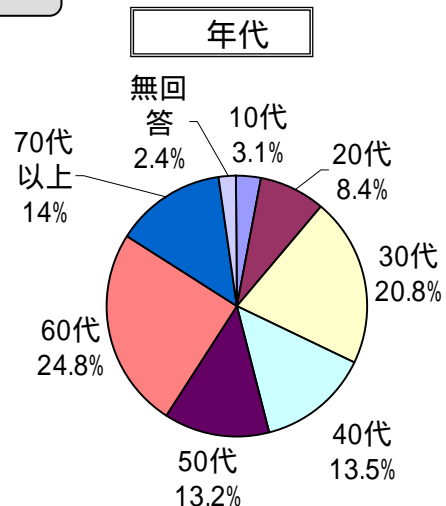
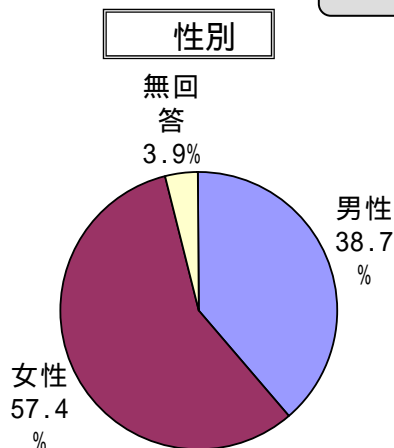
有効回答数：796票（公共施設）

276票（インターネット）

652票（村山デエダラまつり）

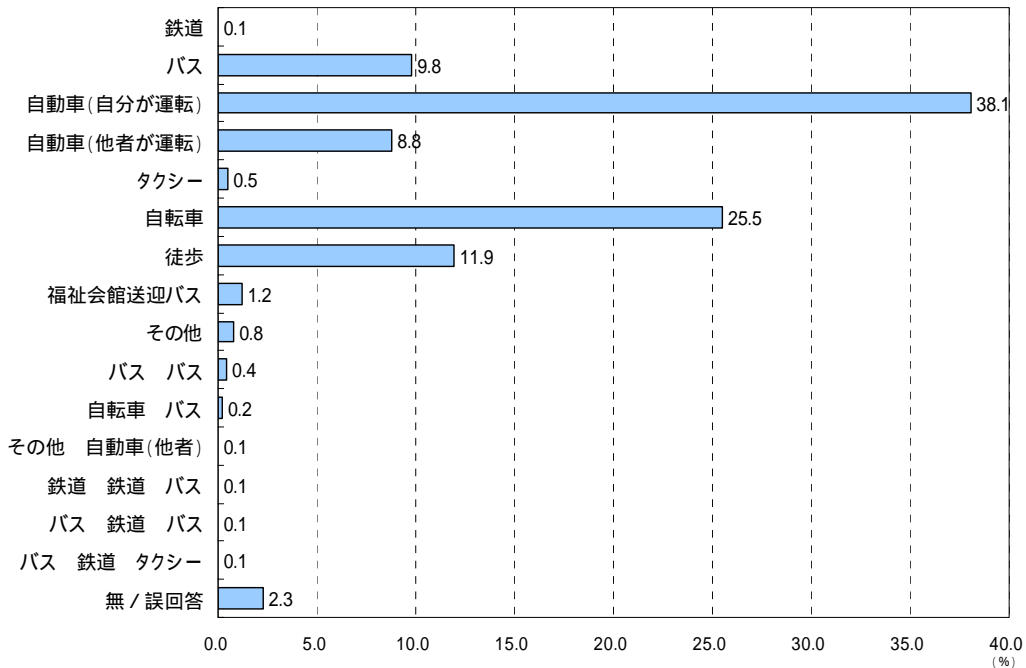
合計：1724票

### 属性



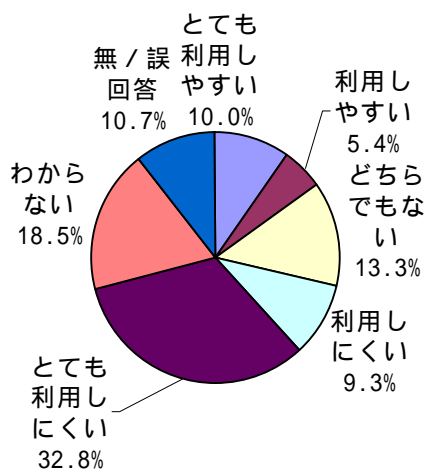
市内公共公益施設への交通行動について

市内公共公益施設への交通手段



市内公共公益施設への交通手段は「自動車」が 46.9%と約半数を占め、バスなどの公共交通機関の利用は 10%程度と低い割合でした。改めてクルマ中心の生活であることが浮き彫りとなりました。また「自転車」利用も 25.5%と多くの方々が行っていることも分かりました。

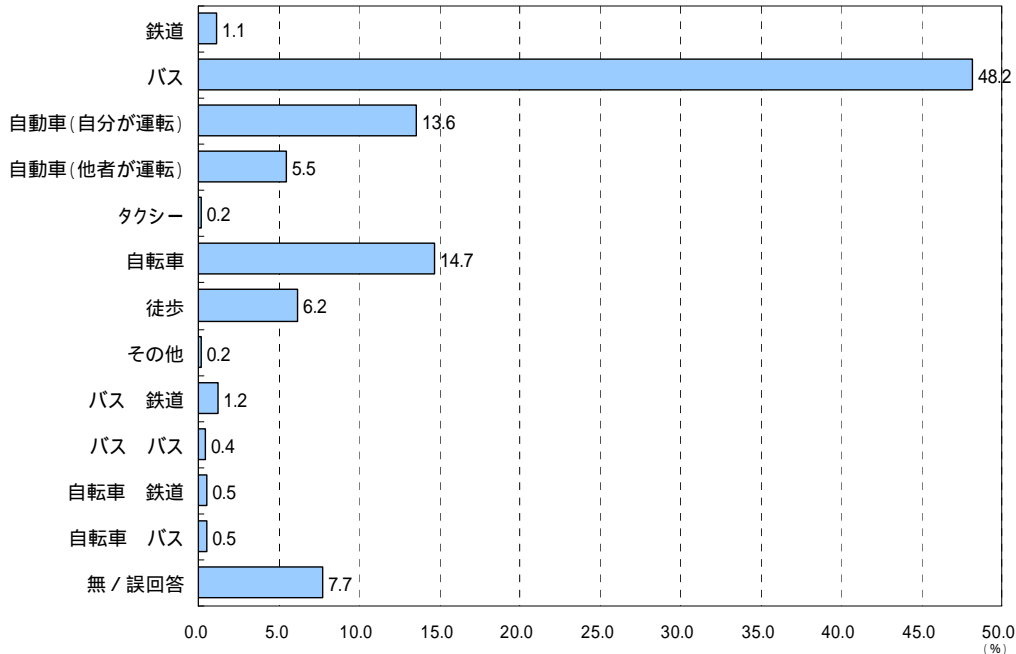
市内公共公益施設への交通手段の満足度



交通手段の満足度は、「とても利用しにくい」が 32.8%と最も高く、「利用しにくい」と合わせると 42.1%の方が現在の公共交通機関について満足されていないという結果となりました。

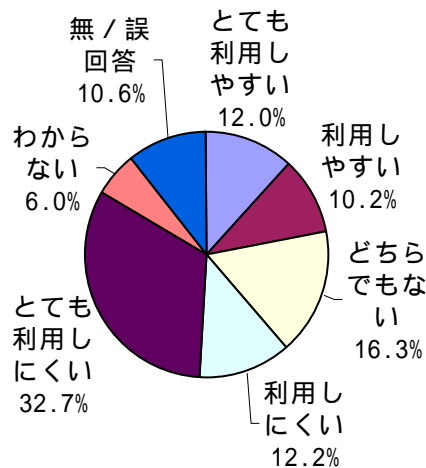
## 市外の駅への交通行動について

市外の駅への交通手段



市外の駅への交通手段は、市内の主要施設への交通手段と異なり、「バス」が48.2%と突出して多く、次いで「自転車」利用の方が多く結果となりました。「自転車」は市内・駅を問わず活躍している交通手段のようです。

市外の駅への交通手段の満足度



交通手段の満足度は、「とても利用しにくい」が32.7%と最も高く、「利用しにくい」と合わせると44.9%と、市内公共施設への満足度とほぼ同程度の低い満足度でした。

## 公共交通に関するコメント

- ・ 時間短縮と夜間早期の足の確保のため、ぜひ「モノレール」を延伸してほしい。今の状態では車の運転できない人、車のない人は移動が大変です。歳をとると特に大変、自動車運転、自転車、徒歩のいずれも難しくなり、といっても車でないと困る所が多いので、かなり高齢の人が運転しているのを見る。安全面からも心配。(40代・女性)
- ・ モノレール延長だけを検討するのではなく、西武狭山線の延長も検討にいはては？西武球場前 かたくりの湯 ダイヤモンドシティまで延長させてはどうか？とにかく早く実現させてください！(40代・男性)
- ・ 朝の時間でもバスが一時間に2本と少なく感じます。(20代・男性)
- ・ モノレールの武蔵村山延伸は村山人の願いです！！ぜひ実現してほしいです。住み良い町になるといいですね。特に病院や大きな商業施設、中心部(市役所)などのアクセスがよくなれば、よりよい場所になると思います。(20代・女性)
- ・ モノレールを早く作ればいい。歳を取って車運転しなくなるとバスやモノレールがないと不便。通勤にも不便。(50代・女性)
- ・ バスが利用しづらいので、利用しやすくしてほしい。(20代・女性)

## アンケート調査のまとめ

今回の調査で、以下のような市民の皆様の日常生活の実態を把握することができました、

- ・ 市内の移動については、自動車利用が最も多く、バス等の公共手段は、あまり利用されていない。
- ・ 市外の駅への移動については、バス利用が突出して多い。
- ・ 自転車は市内、駅を問わず多く利用されている。
- ・ 公共交通に対する満足度は総じて低い。

また、コメント等からモノレール延伸を多くの方々が待ち望んでいることが分かりました

このことから、市では、今後、市民の皆様方から頂いた貴重な御意見・御提言を参考にさせていただき、モノレール早期延伸のため、市と市民が一体となった活動を展開していきたいと考えております。

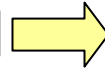
【この後の活動内容(例)】

- ・ 村山デエダラまつり、ウォーキングラリーなどのイベントに参加
- ・ モノ促進シンポジウムの開催・・・広報活動の実施

市民参加の呼びかけ



市民グループの組織化



市民の総意による  
要望活動

H19年度調査の全容につきましては、後日あらためてお知らせする予定です。

問い合わせは、市役所まちづくり課 電話 042-565-1111 内線 274 へ。  
「ものれーる」に対するご意見・ご感想を是非お寄せください。

Eメールでの投稿 [m-murayama@city.musashimurayama.tokyo.jp](mailto:m-murayama@city.musashimurayama.tokyo.jp)